

平成24年1月12日（木）
国土交通省関東地方整備局

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成23年度第9回）の開催結果について

関東地方整備局では、平成24年1月11日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議の結果、10件を対応方針（原案）のとおり、了承する。

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) →募集・情報公開→公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会、
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ、
千葉県政記者会、東京都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、
長野県庁会見場、長野市政記者クラブ、長野市政記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151（代表）
048-600-1329（夜間直通）
地方事業評価管理官 なりた成田 いちろう一郎（内線2118）
企画部技術企画官 のだ野田 いわお巖（内線3126）

(別紙)

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成23年度第9回）

議事概要

1. 日 時 平成24年1月11日（水）16:00～19:10
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 5階「共用大会議室501」
3. 出席者

[委員長]

家田 仁（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授）

[委員]

大野 栄治（名城大学都市情報学部教授）

岡部 義裕（東京商工会議所常務理事）

清水 義彦（群馬大学大学院工学研究科教授）

鈴木 誠（東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授）

堤 マサエ（山梨県立大学国際政策学部総合政策学科教授）

恵 小百合（江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授）

山崎 朗（中央大学経済学部教授）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局]

局長 下保、副局長 吉永、総務部長 加藤、企画部長 金尾、
建政部長 岡、道路部長 池田、港湾空港部長 下司、用地部長 河井 他

4. 議事概要

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 報告

- ・ 港湾事業4件（事業評価監視委員会第7回審議案件）の説明

(3) 審議

1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ 関東地方整備局の河川事業9件、道路事業1件の概要説明

2) 審議

- ・ 特に重点的な審議を要する案件として3件選定する。
- ・ 事務局より説明された再評価対応方針（原案）は、10件は対応方針（原案）のとおり、了承する。

<評価対象事業>

事業名	重点案件	事業箇所名	事業主体	対応方針(原案)	審議結果
河川	○	利根川・江戸川直轄河川改修事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		利根川・江戸川直轄河川改修事業(稲戸井調節池)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		烏・神流川直轄河川改修事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		渡良瀬川直轄河川改修事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		鬼怒川直轄河川改修事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		小貝川直轄河川改修事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		常陸利根川直轄河川改修事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
	○	荒川直轄河川改修事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		多摩川直轄河川改修事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
道路	○	一般国道158号 松本波田道路 ※	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業

※事業評価監視委員会（平成23年度第8回）継続審議案件。

<付帯意見>

(河川事業)

- ・ 高規格堤防の「今後の区間」の詳細が明らかになった段階で説明すること。